

花を植えて町を明るく

NPO法人ふれあい吉岡の主導により、10月31日から11月15日にかけて、町内の小・中学校や保育園、幼稚園、道路沿いなどで花が植えられました。取材に伺った第四保育園では、園児たちが好奇心旺盛な様子で花の植え方を教わっていました。



町消防団模擬火災訓練

11月9日、町緑地運動公園にて町消防団による模擬火災訓練を実施しました。渋川広域消防南分署指導の下、団員26人が訓練に参加しました。

町防災無線による火災訓練放送を受けた消防団車両6台が第2分団詰所を出動し、緑地運動公園東側の利根川沿いから立ち込める煙を目視で確認後、的確かつ臨機応変な状況判断により連携して消火対応しました。



吉岡クラブ還暦全国大会出場

11月11日、吉岡クラブ還暦の皆さんのが町長を表敬訪問しました。吉岡クラブ還暦は、10月に千葉県で行われた第25回全日本選抜還暦軟式野球大会(千葉大会)に群馬県代表として出場しました。



駒寄小で防災講話

11月14日、駒寄小体育館にて、4年生を対象に防災講話を開催しました。防災士の資格を有する町職員が、地震や噴火といった自然災害や、その対策などについて説明しました。参加した児童・先生から大変好評でした。

講話終了後は2班に分かれ、段ボールベッド組み立て体験ブースと消防団ブースを回ってもらいました。消防団ブースでは、先任副団長、第2分団長および町消防団キャラクターの吉岡はにまろが「消防団ってなあに?」をテーマにフリップを用いて説明し、消防団員の重要性について理解を深めてもらいました。

避難所開設訓練

11月16日、明治小体育館で、避難所開設訓練を実施しました。訓練には、明治小学校校区の各自治会員および町職員が参加しました。避難者主体の避難所開設・運営に必要な知識と技能の習得を目的として、避難者の受付やダンボールベッドの組み立て、避難所のルール決めなどを実施しました。また、株式会社カインズ、株式会社ジョイフル本田、星野総合商事株式会社、町社会福祉協議会の協力によるブース展示を通じて、来場者の防災啓発を行いました。





パープルライトアップ

11月12日～11月25日は、「女性に対する暴力をなくす運動期間」でした。これを受け、町では、11月12日、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージを込めて、パープルライトアップを実施しました。



第48回
町民文化祭

11月2日～24日に、文化センターで町民文化祭が行われました。
さまざまな舞台発表や作品の展示があり、多くの
参加者・来場者が文化の秋を満喫しました。

友好都市 大樹町通信

JAXA出前授業

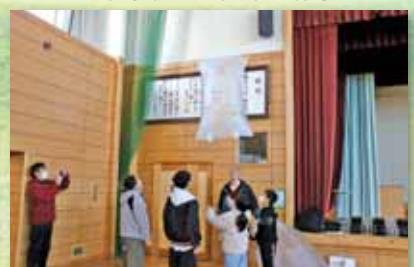
11月18・19日、大樹中学校と大樹小学校でJAXAによる出前授業が行われました。

中学校ではプログラミングソフトを用いた学習、小学校では熱気球づくりを体験し宇宙産業の取り組みを身近に感じる貴重な授業となりました。JAXAはどんな仕事をしていて、プログラミングは何に用いられているのか、大樹町で実施している気球の実験は何を目的として行われているのか、宇宙という教材を生かして科学の楽しさを学びました。



▲中学校での授業の様子

▼小学校での授業の様子



このコーナーでは友好都市大樹町の魅力を
町民の皆さんに紹介します。